

後期高齢者医療制度

廃止求める請願否決！！

今議会に「後期高齢者医療制度の中止・廃止を求める国への意見書を提出する」請願が提出されました。委員会室に入り



「請願」審議に議場いっばいの傍聴者

るが、それでは解決しない制度であり、「廃止を求める意見書提出すべき」と「請願」の採択を主張しました。自民・公明・フオー

といて

われよう

直しが行

て一部手

におされ

し、世論

明らかに

問題を

ら制度の

な角度か

員は様々

た。党委

われまし

審議が行

見守る中、

傍聴者が

きれない

本会議では「みらい」も否

決に加わりました。傍聴者

から「自民、公明もひどい

が、参議院で民主・社民は

「廃止法案」を成立させた

のに、区議会で否決とはひ

どい」と怒りの声を上げて

いました。

民主党

国会・都議会で廃止要求
港区議会で「廃止請願」否決

民主党港支部長の都議会報告には、都議会で「廃止を求めている」と宣伝しているのに、港区議会で否決とは「区民だましもいい加減にしてもらいたい」との声が寄せられています。

良・公明・民主・みらいの多数で否決

区長選挙後のはじめの区議会、第二回定例区議会が六月三〇日から七月九日まで開かれました。党区議団は、区長選挙で掲げた公約の実現めざし、星野区議が代表質問、沖島区議が一般質問を行いました。(代表質問、一般質問、その答弁についてお知らせになりたい方は、ご連絡いただければお届けします。)



風見利男 (日本共産党 港区議会議員)

区政とあなたを結び

140

Email ● kazami@jcp-minatokugidan.gr.jp
HP ● http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp

政治革新の道しるべ
真実つたえ希望はこぼ



区長選挙 善戦・健闘

「後期高齢者医療制度の廃止」「大規模開発よりくらし優先」の訴えに

11,803票と期待大きく広がる

港区長選挙の結果は、日本共産党推薦、港民主区政をつくる会の金子たかしげ候補がオール与党を相手に善戦・健闘しましたが、当選には至りませんでした。

区議会議員の人数から見ても、自民・公明・民主・社民党などオール与党26名対共産党議員団6名という構図での闘いでした。その上、立候補表明からわずか1ヶ月というなかでの選挙でした。このような中の選挙でしたが、後期高齢者医療制度の廃止、大規模開発よりくらし最優先の訴えが11,803票という得票につながりました。区長選が単独の選挙になって共産党推薦の候補者の得票が10,000票を超えたのははじめてです。

区長は当選後、保育園の建設や民間保育所の誘致で子育て支援に力を入れる。後期高齢者医療制度については「独自の支援をとる」と、金子候補の政策を取り入れざるを得なくなっています。

前回 (2004年6月)			今回 (2008年6月)		
候補者名	党派	得票数 (率%)	候補者名	党派	得票数 (率%)
池田 一利	無	5,821 (16.58)	金子たかしげ	無	11,803 (28.69)
〇たけい雅昭	無	14,477 (41.82)	〇たけい雅昭	無	29,334 (71.73)
こさい太郎	無	9,535 (27.17)			
きくち正彦	無	5,066 (14.43)			
当日有権者数		144,077	当日有権者数		163,481
投票率		25.84%	投票率		25.75%

五千百件超す抗議と
問合わせ
後期高齢者医療の保険料
の通知受け
港区は七月十七日、後期高齢者医療制度の保険料のお知らせと納付書を発送しました。十八日から担当部署や各支所窓口にて、抗議や問合わせが殺到、七月三〇日現在で、三千四百七十七件に達しています。

すでに「タウンネットワーク」でこの制度についてはお知らせしていますが、一部手直して問題点は解決しません。制度の廃止しかありません。区長は、四月からはまった制度にもかかわらず、保険料のお知らせを七月に先送りしました。それは、区長選挙前に保険料のお知らせ



せが届くと、選挙に多大な影響が出ることを恐れて、遅らせたのではないかと、の声が寄せられています。

なんでも相談

☆毎月第3月曜日、午後6時30分より 青山福祉会館を予定 (南青山2-16-5)
☆事前にご連絡いただくと幸いです。☆連絡先…風見宅Tel3400-5015 控室Tel3578-2945



青山中学校の緑のカーテン

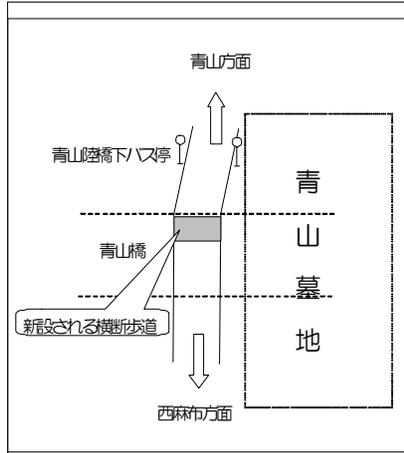
「緑のカーテン」は、ヘチマやゴーヤ、朝顔などつる性の植物を窓の外にはわせた「植物のカーテン」のことで、葉の蒸散作用で周囲の温度を下げて、室温の上昇を抑えるため、ヒートアイランドの緩和と冷房の使用を抑制する省エネルギー効果が期待され



ています。党区議団は、庁舎や学校など区民に見える形で増やすことなどを提案しました。区も「楽しみながら誰れでも手軽にできる緑化の方法」だとして積極的に進めていくと答えています。小・中学校や幼稚園、保育園などに設置されました。

区施設に緑のカーテン 温度の引下げと省エネ効果

バス停の設置場所については、交通管理者と最終のつめが行われています。千駄ヶ谷駅〜目黒駅間を走る都バス黒七七は、青山陸橋下のバス停（墓地側）がないため、手前の



青山墓地側歩道の拡幅工事



号が設置されます。南青山二丁目か、一つ先の西麻布二丁目以降の歩道の拡張工事はありませんでした。風見区議が初当選した頃、青山橋付近にお住まいの方々から「バス停の設置」要望がだされ、都交通局と交渉する

とともに、区としても関係機関に働きかけるよう提案してきました。

青山橋下のバス停設置 墓地側の歩道の拡幅と合わせ実施

こんなムダ許せますか!! 319億円もの政党助成金

「300億（円）の公費助成（政党助成金）をピタリ文受け取っていないと言うのは見上げたものだ」（民放テレビ番組）。政党助成金の受け取りを拒否し、廃止を主張している日本共産党の姿勢に注目が集まっています。

政党助成金は、政党支持や思想・信条の自由を無視して国民に「献金」を強いる憲法違反の制度です。

年総額は、319億4,100万円。その原資は、国民一人あたり250円の税金です。政党別の年間交付額は、下表の通りで、年4回に分けて支給されます。

国民には年金切り下げ、各種控除の廃止、後期高齢者医療での保険料等々、財政が大変だと言って負担を押しつけていながら、自分達は平気で『ムダづかい』、許せません。

日本共産党は、政党助成制度は思想・信条の自由を侵す憲法違反として廃止を主張し、1995年の制度導入以来、一貫して受け取りを拒否しています。いま「ムダづかい」が大問題になり、自民も民社も「無駄を排除」といっていますが、政党助成金と軍事費は聖域扱いです。

それどころか、自民党内では政党助成金の増額すら検討されています。

国民の世論と運動で、「廃止」させましょう。

政党別の交付額

政党名	年間交付金額
自民党	158億4,200万円
公明党	27億3,000万円
民主党	118億7,800万円
社民党	9億 200万円
国民新党	3億8,300万円
新党日本	2億 300万円

青山福祉会館 木曜日もフ口使えます

党区議団は、三月の予算定員会で、清水湯が建て替えて休業する期間、近隣の福祉会館のお風呂を「毎日利用できるように」と提案しました。

担当課長は、利用者などからの意見も聞き、検討すると答えていました。その後、風見議員が再三検討状況を問い合わせるなか、青山福祉会館で、8月下旬から木曜日も利用できるようになります。（これまでは、月・水・金の三日間）来年の三月末までの予定で

第三回定例区議会 ぜひ、傍聴を

- ・9月18日 ~ 19日 本会議質問
- ・9月22日 ~ 25日 常任委員会
- ・9月29日 ~ 10月8日 決算委員会

☆開会時間などは控室に問い合わせ下さい。

みなさんの運動で、後期高齢者医療制度を止めさせましょう!!